

絵本の星

議会だより

けんぶち



令和4年度決算審査報告	2～3
決算審査特別委員会質疑	4～7
第4回臨時会・第3回定例会	8～9
一般質問に5氏が登壇	10～14
産建文教常任委員会所管事務調査	15
議会議員研修会・議会アンケート調査へのご協力お願い	16

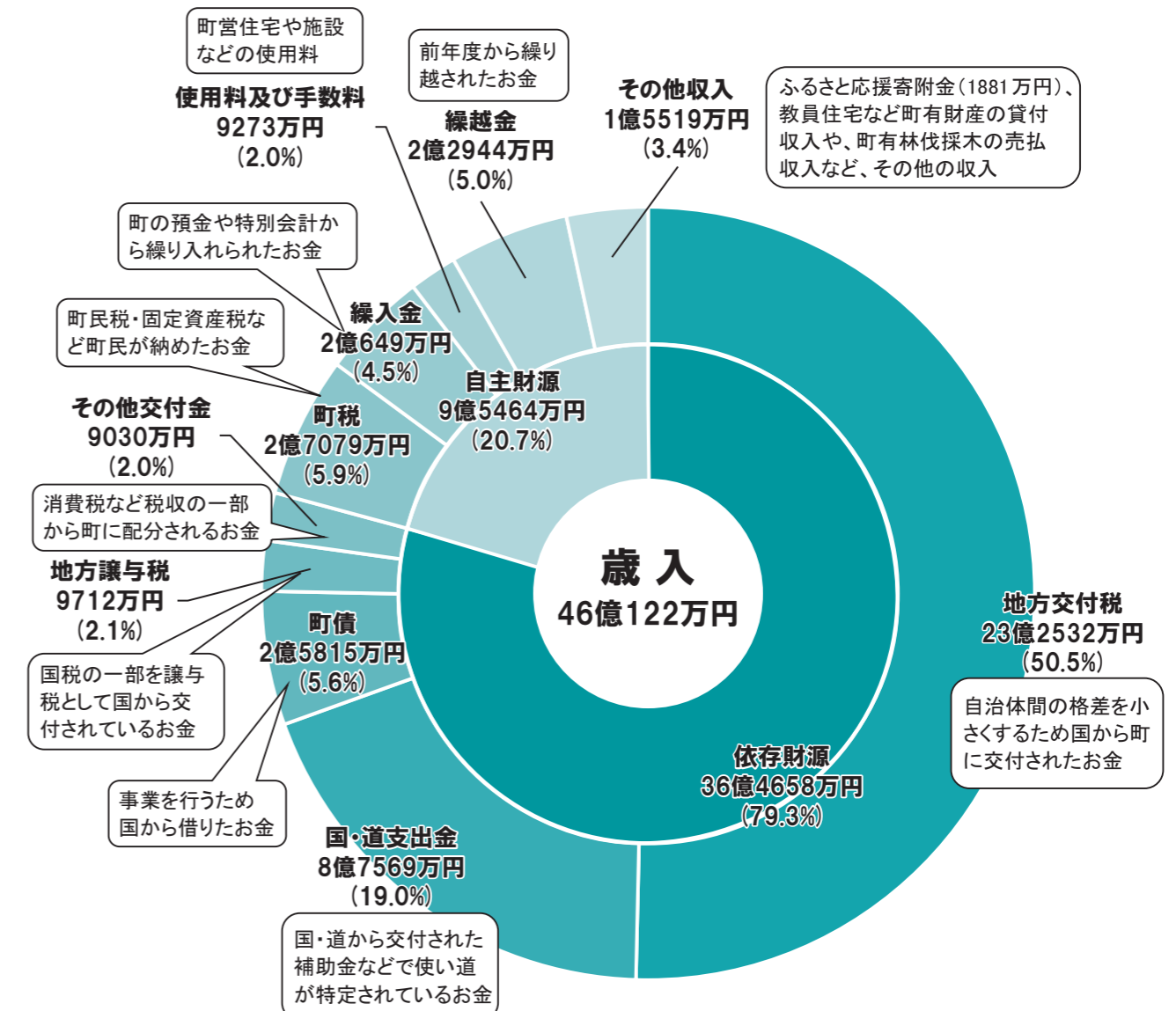
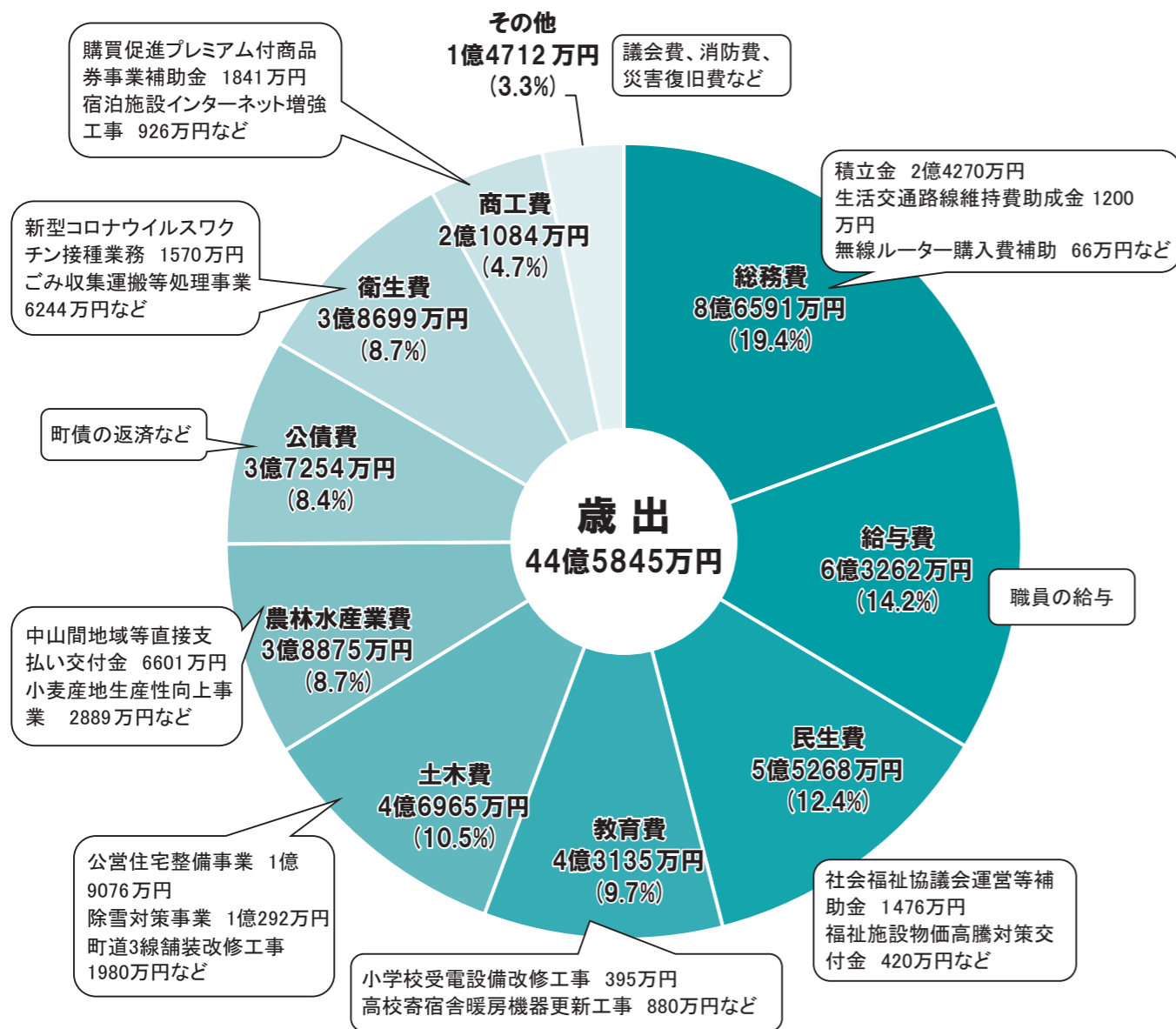
No.144

2023年12月発行
(令和5年)

発行：剣淵町議会
編集：議会広報特別委員会
〒098-0392 剣淵町仲町37番1号
☎0165-26-9020 (直通)
<https://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>

可燃ゴミの処理を委託、ゴミの減量化へ

令和4年度 決算審査報告



各会計決算状況

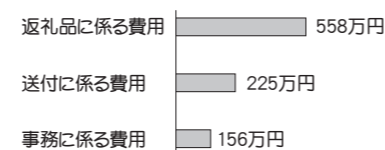
	歳入	歳出
一般会計	46億122万円	44億5845万円
特別会計		
国民健康保険事業	5億8018万円	5億6476万円
国民健康保険刺洲町立診療所	1億1686万円	1億635万円
後期高齢者医療	6271万円	5990万円
介護保険事業	4億5500万円	4億3794万円
簡易水道事業	1億4351万円	1億2920万円
下水道事業	1億7418万円	1億5410万円

令和4年度ふるさと納税

件数…1241件
総額…1881万円

ふるさと納税にかかる経費

939万円



令和4年度 決算審査特別委員会委員長報告書
委員長 卯城規伊

一般会計決算は歳入総額46億122万円、歳出総額44億5845万円、このうち繰越明許費繰越額を除く実質収支額は1億3911万円の黒字を確保しました。新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の縮小や取り止めなどの数ある中、物価高騰対策など必要な補正予算を行いました。財政調整基金に9534万円、減債基金に9526万円、公共施設整備基金に2900万円を積み立て、さらには決算剰余金のうち繰越財源などを留保した残りの7000万円、財政調整基金と減債基金にそれぞれ3500万円を積み立て、次年度以降の行政執行に備えたところであります。

多額の予算が拠出されたことで国の財政状況はよりひっ迫度が増しています。このことは自ずと今後、地方交付税の4年度以上の減額といった厳しい行政運営を強いられることを覚悟しなければならぬのではと危惧するところです。今後に向けては、行政のスリム化に向けた取り組みや様々な団体等への助成事業や委託業務の見直しなども視野に限られた財源の効果的運用に取り組むことが緊要の課題になると推測されます。今までの横並び意識を払拭し、当然ながら町民の理解を得ることを前提に「よそはよそ、うちはうち」の発想と気概で行政運営に臨んで頂きたい。

決算審査で出された意見を次年度以降の予算編成に反映されるとともに、行政と町民が丸ごとになって、安心して暮らせる活力のあるまちづくりに邁進することに期待して委員長報告いたします。

令和4年度
決算審査特別委員会質疑

特別委員会の中でだされた主な質疑の概要を掲載します。



審議風景

歳入

社会体育施設

岡委員

体育館等の使用について、ホームページには料金や使用の規約の掲載がなく、料金を教育委員会に電話で確認、条例で確認と記されている。料金や規約を掲載し、メールでも問合せをできるようにするなど改善は。

金村教育長

保健体育施設の利用について、利用規約や申請方法、要件等を含め早急に対応する。

絵本の館

大澤委員

絵本の館が閉館している期間、絵本の関係以外でも、クリエイターや団体が活用できるような検討は。

萩尾教育課長

貸出しの表示は町民センターにしている。若干利用されているが周知は不十分。絵本の里を創ろう会関連の行事、視察等のバランスも含めて検討したい。

ふるさと応援寄附金

大澤委員

ふるさと応援寄附金について、件数は増えているが寄附金が減っている。返礼品の種類も増えているが、件数と金額が伸び悩んでいる。民間を巻き込んだ会議としなければ発展しない。今後の取り組みは。

渡邊総務課主幹

金額の減少している要因としては、絵本の返礼品が総務省で認められないこと、件数が増えているのはアルパカの餌など寄附しやすい金額が多くなったことが考えられる。どういった返礼品が良いか、農業の町ならではの魅力ある返礼品を研究したい。

岡委員

10月から、ふるさと納税の経費を寄附額の5割以下とするよう厳格化される。マーケティングを経費をかけないで行う難しさがあると思うが、商品の値上げについてはどうか。

渡邊総務課主幹

物価高に伴い、返礼品の送付等の経費も上がってきている。値上げも検討していかなければならぬ。広告も打ち、50%内で収めるよう努力したい。



主な返礼品

育英奨学基金

岡委員

奨学資金を設けているが、公的奨学金制度の拡充に伴い、現行制度での利用者は減少しているとのこと。国においては、奨学金返還支援による若者の地元定着の推進

をしているが、奨学金制度を見直す検討は。

萩尾教育課長

国の有利な制度を活用する方がほとんどである。委員会内で検討しており、この資金を移住定住に活用することも含め、町長部局とも相談しながら検討していきたい。

歳出

燃料高騰対策

竹内委員

燃料高騰対策灯油等助成券配布事業について、交付率は。

鴻野総務課係長

1278世帯が対象で、使用した方は95%となった。施設入所者の方やオール電化かつ自動車を保有していない方が辞退した。

LINEアカウント

岡委員

町としてLINEの公式アカウントがあったら便利では。災害時の初期情報収集や、行政手続きのオンライン化への活用も考えられるが検討の状況は。

渡邊総務課主幹

非常に有効な媒体と考えており、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し導入できるように研究している。

LOGOチャット

大澤委員

LOGOチャットを今後も続けるのか。

渡邊総務課主幹

LOGOチャットは全国の市町村約7割が活用。情報の共有速度が高いため、災害時や行方不明者の捜索でも活用することができた。セキユリティー面も完備されていることから令和5年4月から本格導入している。

災害対策

竹内委員

通常時、職員の作業服は様々。

災害時には全職員、貸与された作業服を着ることが必要だと思いが、長谷川総務課主幹

災害時の服装について、災害はいつ起こるかわからないため、洗濯等で使えない場合も考えられる。総務課では、統一したベストを配布し、それを着て出動するよう指導している。

まちづくり懇談会

岡委員

まちづくり懇談会の参加者が少ないなかで今後に向けて考えられ

る改善点は。

精進総務課長

参加者が少ないため、要望を聞くだけではなく、自治会でとりまじめに提案していただくことや、実施時期を含めた検討が必要と考えている。

部活動

竹内委員

部活動の民間移行について、2025年度から完全に地域に移行となるが、進捗状況と今後の見込みは。

佐藤教育課長補佐

自治体によって子ども数が違うので良い事例を示すことができない。協議会開催前に小学6年生、中学生、保護者、教員にアンケート調査を行った。和寒町、士別市とも情報交換をしているが、クラブチームに所属している生徒もいる。すぐに答えを出すことはできず、情報共有して進めていきたい。

教育備品

大澤委員

中学校の吹奏楽部の楽器をすぐ買うのではなく、他校と連携し、不足や余剰の楽器がないかを探すことは。

金村教育長

前顧問は他校と連携をしていた。今後、お互いに連携し合うことを進めてもらう。

給食食材

酒井委員

保護者から、家で作った野菜を学校給食に使用できないのかと相談があるが、どうすれば使ってもらえるのか。

金村教育長

様々な団体から食材の提供を受けており、個別に配達指定していただいている。大変ありがたいことで、給食センター側と一致できれば可能で、対応できるか給食センターに確認する。

子ども医療費

大澤委員

子ども医療費について、中学生まで医療費の助成があるが、札幌市が高校生の医療費無償化を行っている。田舎のメリットがなくなっていくことになるので検討すべきでは。

板東住民課長

国保に関し、ペナルティの関係で踏み込んでいない。ペナルティが廃止されれば、検討する。

岡委員

政府は、今後、子ども医療費助成の無料化などをした場合に補助金を減額している現行の措置を廃止することのだが、このペナルティが無くなった際の試算は。

板東住民課長

令和4年度の医療費実績で試算した結果、中学生以下だと510万円、高校生を加えると960万円程が想定される。



税務申告

酒井委員

農連から申告している件数、税務課を通して申請している件数について。

鈴木住民課係長

農連からの申告は、概ね400件程度。役場の納税相談期間中に受けている件数は、300件程度。紙での申告は、合計700件程度となっている。

国民健康保険

竹内委員

滞納などに関する資格証明書を発行しての滞納対策は。

前田住民課長補佐

資格証明書の発行はないが必要に応じて短期証を発行し、期限が来るたびに納税相談をしている。

通院交通費

村上委員

透析の通院について、延べ人数と腎臓機能障害者通院交通費の利用条件は。

加藤健康福祉課主査

透析を受けている方は17名、うち送迎付きの比布クリニックに通院している方が8名。利用回数については1981回の通院。交通費がかかる医療機関に受診している方には交通費を助成している。

板東健康福祉課長補佐

月4回の片道分が対象になる。

竹内委員

比布クリニックの送迎について、決まった曜日以外に通院することの補填措置については。

板東健康福祉課長補佐

比布クリニックに通う方でも、手続きを行えば交通費助成を受けられる。

成年後見支援センター

佐藤委員

成年後見制度の利用状況等は。

高橋健康福祉課長補佐

相談実績は176件。後見人となった方や後見人をつけたい方、通帳の管理が不安な方が利用している。

児童発達支援

岡委員

児童発達支援の人数が前年の倍以上となっているが、課題をどう捉えているか。

加藤健康福祉課主査

修学前にのぞみ園に通っていても、就学後は通うことができないため、小学校で支援を受けることになる。土別市の放課後デイサービスは本町の児童は利用できない。旭川療育園には派遣サービスがあるが費用負担が発生する。本町で放課後デイサービスの需要があるか調査が必要であるが、障がいがあるかは触れにくいことなので慎重に進めていきたい。

屈折検査機

竹内委員

屈折検査機の検査後について、精密検査が必要となった方への対応は。

村椿健康福祉課長補佐

3、4歳児健診で屈折検査を行ない、5歳児については就学時の健診に併せて個別に行っている。要精密検査となった方には、眼科の受診を勧めている。

介護人材

酒井委員

特養の介護従事者の減少による影響をどう捉えているか。

板東健康福祉課長補佐

職員人材、特養については50名だが、定員が40名をきっている状況。待機者もいるため外国人を含めた人材確保で支援していきたい。

竹内委員

東川の外国人への奨学金、ひらなみ荘との事前の調整は出来ているのか。

板東健康福祉課長補佐

外国人留学生の受入れについて、ひらなみ荘と協議をして進めている。協議会の負担金については、マッチングが成立した段階で負担金が発生するので、剣淵町への希望がなかった場合、負担金は発生しない。

スマート農業

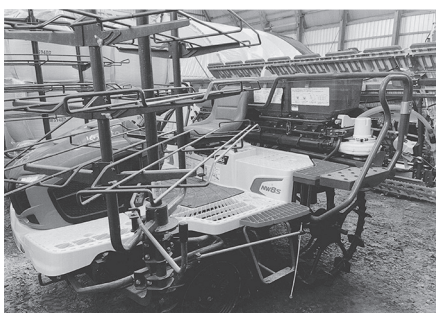
佐藤委員

スマート農業促進事業の利用者が多く、今後増えていくことが見

込まれるが。

中上農林課長

スマート農業の要綱は、予算の範囲で機械類30万円、ドローンの免許20万円を上限としている。取り組む農家が増えてきているので大幅に増額した。今後も、予算確保に努めていく。



水田活用交付金見直し

竹内委員

水田活用交付金の見直しにより水田を大規模にしている農地の復田状況は。

中上農林課長

一部農家において畔のある部分に水稻を回しながら作付けしていく方が数件。畔をつけて水を溜める取り組みもある。本町の転作率が85%というなかで、残り3年間で畑地化支援のお金がどれだけ入ってくるかが今後の問題となる。

馬鈴しよ

佐藤委員

馬鈴しよを作る農家が減っているが今後も補助が続くのか。

中上農林課長

国では馬鈴しよについて増産の方向で予算化されている。農家にとって大切な作物なので継続していく。

ブランド化推進協議会

大澤委員

ブランド化推進協議会の構成団体が多わりに、商品の協力体制が構築できていないのでは。

原農林課主幹

物販やテレビの取材対応等を通して剣淵町の認知度の低さを感じる。対面での話し合い、地道なPRが必要となる。

加工センター

酒井委員

加工センターで作った製品の評価が高い。難しいと思うが道の駅でも販売することができないのか。

原農林課主幹

町として、営業の許可は取得しているので販売できないことはないが、製造責任者の立会いの下、製造しなければならぬため、すぐに結論を出すことができない。

体験型アクティビティ

大澤委員

桜岡湖の体験型アクティビティ活用について、備品が揃っているので呼び込みをかけたら更なる利用が見込めるのでは。観光資源として活用するため、改良区との協定見直し等は。

佐藤町づくり観光課係長

キャンプ場は、昨年度、統計を始めてから過去最高の収益となった。改良区との協定を見直し、観光資源として利用する中で、一部権限を持って町の下で行うことなどを協定に載せた。キャンプ場だけでなく、レークサイド桜岡の入館者数も増えている。ワカサギ釣りは、素人の方にも楽しんでもらえるよう改善してきている。

除排雪

酒井委員

除排雪業務について丁寧に行われているが、余裕を持って除排雪を行えば、春先の歩道の改修が減るのでは。

小川原建設課主幹

受注業者に、ぎりぎりまで寄らないで除排雪をするよう指導する。

岡委員

北5条通りセイコーマートから健康センターの間が、冬は歩道が

雪で埋もれ、高齢者や児童生徒が車道を歩いているが、一部でも歩道を確保出来ないか。

小川原建設課主幹

公営住宅から土木車庫までは可能、その先は、歩道が狭く機械があげれない。排雪を始める際は、北5条と絵本の館前を先に行っている。除排雪の際になるべく拡幅できるようにする。



道路補修

佐藤委員

町道の路肩の割れが目立つが。

佐藤建設課長補佐

舗装、路肩の割れが目立ってきている。車道や路肩の補修が全町的に必要になっている。

樋門管理

佐藤委員

樋門管理について、樋門までの道路の草刈りは、誰が責任を持つて行うのか。大雨の中での樋門操作をひとりで行うのは危険。何か方法はないか。

小川原建設課主幹

堤防の除草は北海道の管理となる。道内全体の予算の中で行っているため、手が回らないとのこと。樋門操作については、近隣の管理人同士で連携して欲しい。

行政デジタル化

岡委員

デジタル技術やデータを活用して住民の利便性の向上、業務効率化を進め、行政サービスの更なる向上につなげていくために次年度に向けての考えは。

中村副町長

DX推進会議の中に係長職を中心としたワーキンググループを作った。次年度、デジタル田園都市国家構想交付金の活用を含め、本町でどついつたことができるのか各課で集約し、その中から理事者を交えて進めていこうと動き出している。

第4回臨時会 8/3

一般会計、簡易水道事業会計並
びに下水道事業会計の補正予算の
審議を行い原案どおり可決しまし
た。

補正予算

農業次世代人材投資事業費 補助金など

●一般会計1009万円を追加し
ました。

主な増減内容は、総合庁舎高圧
ケーブル取替工事42万円、健康福
祉総合センター循環ろ過装置修繕
72万円、下水道事業会計補助金1
543万円減額、簡易水道事業会
計補助金3243万円、農業次世
代人材投資事業費補助金（経営開
始型）550万円、経営継承・発
展等支援事業補助金100万円、
経営所得安定対策直接支払推進事
業報酬・期末手当101万円、鳥
獣対策事業21万円、北海道剣淵高
等学校寄宿舎修繕料68万円、農地
災害復旧工事請負費180万円な
どの追加、公債費元金3730万
円・公債費利子40万円の減額など
です。

●簡易水道事業会計では3243
万円を追加しました。

主な内容は、企業債償還金32
22万円です。

●下水道事業会計では527万円
を追加しました。
主な内容は、企業債償還金508
万円などです。

第3回定例会 9/19～29

今年度の第3回定例会では一般
質問に5名が登壇しました。

（詳細は10ページからを参照）

また、従来10月に開催していた
決算審査特別委員会を公営事業会
計の早期の決算認定が必要となる
ことから令和4年度の各会計の決
算審査を行い、会期も休会を含め
て10日間の日程で行いました。

町長から提出された議案は、条
例の一部改正2件、特別会計補正
予算1件、過疎地域持続的発展市
町村計画の変更1件、組合規約の
変更1件、教育委員の任命1件、
一般会計ほか4特別会計及び2事
業会計の決算認定、報告で、令和
4年度普通会計健全化判断比率及
び公営企業会計資金不足比率の報
告、専決処分1件などを審議し、
提出された議案は原案どおり全て
可決しました。

また、定例会最終日の29日には
決算審査特別委員会委員長からの
一般会計ほか4特別会計及び2事
業会計の決算審査報告、一般会計
ほか2特別会計の補正予算、所管
事務調査報告、議会発議2件、要
望意見書3件が提出され、すべて
原案どおり可決しました。

条例改正

産業経営者育成資金

新規貸付停止

●町有バス運送事業条例の一部改
正
運行区域と運行区間、キロ程を
現況に合わせるものです。

●産業経営者育成資金貸付条例の
一部改正
民法の改正により、保証人の取
り扱いが厳格となったため新規貸
付を停止するものです。

補正予算 9/19 審議

消費税及び地方消費税納付

●国民健康保険剣淵町立診療所特
別会計に270万円を追加しま
した。

主な内容は歳出で、公課費（消
費税及び地方消費税）270万円
の納付のためです。

決算審査特別委員会 9/20～22

（詳細は4ページからを参照）
決算審査特別委員会は委員長
・卯城規伊、副委員長・岡康照
他5名の委員で構成されました。

補正予算 9/29 審議

大雨による土木施設

災害復旧事業費など

●一般会計では4389万円を追
加しました。

債務負担行為補正の追加で町営
住宅管理システム購入事業/期間
・令和6年度、限度額228万円
主な内容は、住宅新築・改修促
進助成事業補助金100万円、高
齢者等冬の生活支援費350万円、
外国人介護福祉人材育成支援協議
会負担金250万円、新型コナ
ウイルスワクチン接種業務958
万円、持続的畑作生産体系確立緊
急対策事業補助金704万円、桜
岡公園キャンプ場法面復旧工事2
33万円、町道除排雪業務981
万円、土木施設災害復旧事業13
80万円の追加などです。



質疑

竹内佳明議員

バス路線には多くの待合所や停留所があるが、使われていない所の見直しが必要では。

精進総務課長

スクールバスを兼ねているバス路線で、利用する子どもたちの住居近くに設置している。利用者が減少しているので見直しは必要と考えている。



佐藤宏和議員

農家にとって経営者育成資金は無利子ということを使い勝手が良い制度。代わりとなる制度を考えているのか。中上充農林課長

民法改正により資金の貸し付けに伴う連帯保証人の要件が厳格化されたことにより、新たな貸し付けはできない。利子補給の補助金についても難しいと考えている。

● 国民健康保険剣淵町立診療所特別会計では50万円を追加しました。

主な内容は光熱水費です。

専決処分

● 損害賠償額の専決処分

町所有のスノーポール破損個所に作業機械が接触する事故に係る損害賠償額16万円

人事案件

教育委員の選任に同意



松井 有紀氏 (新任)
住所 仲町34番1号
任期 令和5年10月1日
～令和9年9月30日
の4年間

所管事務調査報告

● 産建文教常任委員会所管事務調査報告 (土木調査) 詳細は15ページ

議会決議

● 閉会中の継続調査の申し出

議会運営委員会「議会の会期日程等議会の運営に関する事項」、総務厚生常任委員会「災害時の準備状況」、産建文教常任委員会「ICTを活用した教育の在り方について」懸案事項の促進及び調査のための派遣

上川管内町村議会議員研修会。道外先進地行政視察研修に予算の範囲内で派遣する。

要望意見書

- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実強化を求める要望意見書
- 北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会
- 肥料価格高騰対策並びに畑地化促進事業等の財源確保を求める要望意見書
- 剣淵農民連盟
- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書
- 北海道町村議会議長会
- 地方財政の充実強化に関する要望意見書
- 自治労剣淵町職員労働組合

産建文教常任委員会 大雨による緊急調査実施

- 1 調査日 令和5年8月9日
- 2 調査事項
大雨による被害状況調査
- 3 調査の所見

令和5年8月5日から6日にかけて110mm超えの大雨による農作物の冠水及び農地被害の状況について、委員全員による緊急の現地調査を行なった。

今回の緊急調査では農林課で把握した農家からのFAXによる聞き取り調査結果を基に東町、屯田町、西岡町を冠水した畑、水田、法面崩れ等を中心に視察した。

今回の大雨では水引が早かったため大きな被害にはならなかったが、土木災害では町の応急復旧工事を実施しており、迅速な対応に敬意を表したい。早期の調査により水のつきやすい箇所や町内の特徴を理解する事ができた。





たけうち よしあき
竹内佳明 議員

剣淵町職員の副業について

町長 先進的に取り組む自治体の例、近隣市町村との情報交換などで情報収集を進め、研究・調査する

竹内佳明 議員

道内では、人手不足に悩む農業や漁業の現場に町職員が副業として携わる事例が多く見られ、全国的に広がっている。後継者対策や労働力確保として、町でも制度の検討や導入を考えるべきでは。

早坂 町長

町職員の副業は、国家公務員と同様に任命権者の許可を得ることによって副業兼業は可能となる。

竹内 議員

副業制度の利点については。

早坂 町長

労働力の確保における点であり、緊急かつ短時間の場合については可能性があると考える。

竹内 議員

副業制度により確かな労働力を確保できるのであれば、特産品の復活につながると思うが。

早坂 町長

特産品の奨励は事業主とのマッチングも必要かと思う。特産品を製造するにあたり、恒常的に職員の労働をあてにする現象も生じる可能性がある。

竹内 議員

副業制度は農業に留まらず、町の特性を考慮して商工業にも効果があると考えているが、関係機関も入った研究会を立ち上げる考えはあるか。

早坂 町長

一次産業の底上げの観点から、労働力の確保という課題を改善する意味から可能性はある。ただし公平に配置できるかという問題も危惧される。

事務改善検討委員会等で慎重に扱っていききたい。

竹内 議員

人口減の中、副業によって何よりも町民が支え合わないと活気は維持できない。町内でも特にかぼちゃ、じゃがいもの収穫で相当人手がいるので町職員が職務に影響のない範囲で、従事・関わることは、2800人の町で必要だと思いが。各地の様々な事例があるので、参考にして剣淵版の副業制度を望みたい。

早坂 町長

一時的・即時性が必要なものというのは、十分研究するに値するという話はさせていただいた。十分状況を確認しながら研究、調査していききたい。

町の機構改革について

竹内 議員

職員の再配置を含めたコンパクトな行政を進める時期と考えるが、組織の改編、機構改革の考えは。

早坂 町長

職員配置の見直し、コンパクトな行政の必要性は承知しているが、本町の状況を考慮すると難しい一面もあるため、総合的かつ慎重に判断すべきと考えている。

竹内 議員

自治体DXを採用した書かない窓口や住民負担が少なくなるような対応はどうか。

早坂 町長

DX推進本部を立ち上げ、具体的な方策・手段の検討を進め書かない窓口はできることから進める。

竹内 議員

何よりも機構改革には人が伴う。異動に際しての職員の動向把握や意向調査は。

早坂 町長

意向調査は、実施することの良し悪しもあるので研究する。



おおさわ ひであき
大澤秀明 議員

住宅環境整備は、需給バランスやコスト高を考慮して進めるべき

町長 将来の人口減少を考慮、建築費精査を検討していき、計画的に進めていきたい

大澤秀明 議員

町では年次計画で大規模に公営住宅建設が進められていて、今後建設予定のものもある。しかし、既存の住宅でも空室が出てきており供給過多ではないかと感じている。建設費も上昇している中、建設計画の一時休止や設計見直しも含め今一度検討すべきではないか。

早坂町長

平成29年に策定した「剣淵町公営住宅等長寿命化計画」では人口減少や高齢化の進行を考慮して、郊外の団地や老朽化している団地の廃止・建替え・改修を行い集約化を図るものである。交付金を活用し事業を行っていることから大幅な見直しはできないが、低コスト化や棟数の部分について検討できることはしていきたい。

大澤 議員

元町の団地の跡地を宅地化する計画も一度示されてから具体的な進展はないままである。景観的に国道から町への入り口でもあり、水道の通っている貴重な土地でもあることから再整備は必要となってくると思うが、現在の状況は。

早坂町長

元町東団地については築50年前

後経っており老朽化が進んでいることから空いた住宅から随時取り壊しを進めている。今後宅地化を進めていきたいと考えており、移住定住のための分譲地として活用していく予定である。そのためには道路整備が必要で本計画の理解が得られたのちに進めていきたい。

大澤 議員

団地の住み替えと解体が完了していない中で道路整備に多額の予算を費やすのでは、なかなか理解が得られないと思う。今後進めていくには、全体の青写真を示して課題、問題点の解決のため議会とも議論を重ねて計画的に進めていきたい。

早坂町長

移住定住用に提供できるものなのか判例等も調査し、全体像も示しながら理解を求めていきたい。



企業版ふるさと納税を進めていくべき

大澤 議員

これまで剣淵では企業版ふるさと納税を行っていただけだったが、今年の予算特別委員会時で伺った際、今後検討していくとの答弁を頂いているが、現在の進捗状況とどのような事業に対して活用し寄附を募っていくのか伺いたい。

早坂町長

地域再生計画の認定に向けて8月下旬に内閣府に対して事前協議を行い9月に本計画を提出したところである。認定予定が11月と聞いており、活用していく事業としては絵本に関しての取り組みを主体とした事業を計画しているが具体的な事業立案はこれから。

大澤 議員

現行制度はひとまず令和6年度までのものであり、急いで事業計画し、寄附を募っていかねばならない。スピード感をもって具体的な事業を計画してほしいが。

早坂町長

できるだけ早く具体的な計画を組み立てたい。



さおと めてるたか
早乙女晃隆 議員

検定補助金の科目制限をなくし、多様な個性・能力を伸ばせる環境を作っていくことが大事では

教育長

学校教育の延長線上の教科を対象としており、
習い事の範囲となるものは難しい

早乙女晃隆 議員

剣淵町では各種検定に関し、これまで中学校で英語・漢字・数学を実施してきたが、本年度から小学校にも英語・漢字検定を拡大し、学力の向上につなげるよう受検補助を行っており、子供たちの学習意欲向上につながっていると感じている。さらに多くの子供たちが学ぶ楽しさを身に付けるために、検定科目の制限をなくし、多様な個性・能力を伸ばせる環境を作っていくことが大事と考える。剣淵町教育振興基本計画（令和3年）に記載されている「国の第3期計画の5つの基本方向性」の中にも「1. 夢と志を持ち、可能性に生きるため必要となる力の育成」、「2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力の育成」と記されている。小中学生が受検できる検定にも多様なジャンルのものがあり、挑戦することにより希望する学びの入り口になると思う。検定科目の制限をなくすことへの教育長の考えを伺う。

金村 教育長

各種検定の実施状況だが、中学校で実施している検定科目の種類

は、漢字、英語、数学、歴史、理科の5教科。検定に要する時間は1時間程度で終了するが、英語など級が上がるにつれ、2時間を要する検定もある。検定は検定協会の準会場として指定を受けている剣淵中学校で実施、教員が検定員となり、授業が終了した勤務時間外の放課後を活用し実施している。現在の各種検定事業の受検状況は、数学検定が20人程度、英語、漢字検定がそれぞれ50人程度の受検となっている。国や道の関連計画との整合性を図り策定している教育振興施策の中で、「各教科等の指導を通して、どのような資質・能力の育成を目指すのか明確にしながら教育活動の充実を図る」とこととされ、現在、中学校で行っている各種検定事業は、学校教育の延長線上の教科を対象としており、受検科目については現状の対応で実施していきたいと考えている。

早乙女 議員

多様性の捉え方だが、記憶や計算が得意な生徒もいれば、体を動かすスポーツが得意な生徒もいたり、絵を書いたり字を書くことが得意な生徒もいる。そのいろいろな個性を持った子供たちの選択肢

を広げる手助けをしてはどうかと思うが。

金村 教育長

検定の枠を広げることで、児童生徒が目標を持って挑戦し、学びの入り口が広がっていくことについては理解する。多様なジャンルとあつたが、習い事の範囲となるものを補助対象にするのは難しい。教職員の時間外に協力を得て行っており、あくまでも教科の延長と考えていて受験に関しては回数制限をせず努力に補助金を交付するという考えである。

早乙女 議員

文科省で後援している検定試験も、英語、数学、漢字以外にも10種類ぐらあるので、そこに絞っても、より多くの子供たちが検定補助を受けられ挑戦しやすい環境を望みたいが。

金村 教育長

学校からの要望、生徒の要望が多ければ、中止している理科、歴史の検定も復活していくことになる。教育委員会としては、学校における学力の向上、これを第一に考えている。



さとうひろかず
佐藤宏和 議員

大雨による災害防止対策をどのように考えていくのか

町長 浄化センターへの対策として、調整池化することも考えられる

佐藤宏和 議員

8月6日の大雨により、剣淵町各地で道路や河川、農作物にも被害が及んでいる。また、下水道処理場周辺の増水により、下水道が危機的状況にあった。近隣町村では、すでに排水ポンプの購入や長期的なリース契約を結び排水ポンプの確保に努めている。剣淵町においても、過去に排水ポンプや遊水池の設置を検討するとしていたが、その後の進展が見られない。町民の生活や財産を守るために、大雨による災害防止対策が急務だと思つが、町としての考えを伺つ。

早坂 町長

道路の路盤流出や法面崩壊、側溝への土砂流入、河川では河道の洗掘など発生し、合せて24か所の復旧作業を行っている。内水の増水対応は、池田排水樋門に臨時にポンプ1台、また、下水道処理場では、平成27年に購入した常設排水ポンプ2台と臨時設置のポンプ1台を加え、計3台で排水作業を行いました。下水処理場では汚水処理が追いつかず、下水の流れが悪い状況が翌7日朝まで続いた。今後の対策として、ポンプ排水ですべて対応することは難しく、冠水を想定した畑を町有地化し、

隣接地への浸水を防ぐことを目的とした畔などを新たに造設し、大雨時は遊水地化することも考えられ、事業化にあたっては、地権者や関係者の理解を得ながら進めていかなければならない。町内の排水対策として、和寒町の例では、排水ポンプ14台、3か月リース契約費用は580万円、剣淵町は30台で1000万円を超える費用が必要となる。遊水池については、規模的なものを研究する必要がある。費用も莫大と推測される。



増水時の剣淵川の様子

佐藤 議員

下水道処理場の内水対策として、大きめの常設固定型のポンプの設置や農作物の被害を少しでも減らすために、長期リースの排水ポンプが最低でも4台ぐらい必要と思つが。

杉村 建設課長

下水道の耐水化計画を昨年策定



冠水した畑の様子

しており、剣淵川の氾濫は千年に一度起こるといふ確率で検討している。その時、浄水場は2メートル程水没し、その対策として地面から2メートルの止水壁、遮水盛土を建設し、内水を排水ポンプで対応しながら浄水場を守る計画をしている。

早坂 町長

下水道処理場では、過去には開発局に支援をお願いして10インチのポンプ2台の貸与を受けているが、常時設置しておくことには安心感はあるが、処理量的には不安もあり、微妙なところ。農地も含め、できれば今回のように先を見越して頼んでおき、排水ポンプのリースを確保していく形でやってくれないと考えている。調整池や遊水池等も含め、今後内部的にも勉強していきたい。



おか やすてる
岡 康照 議員

小中学校の冷房設備の導入について 早急な検討が必要では

教育長 学校施設へのエアコン設置を検討するため、既にエアコンを設置している自治体を訪問し、調査を予定している

岡 康照 議員

近年、北海道において夏の暑さが増す傾向があり、上川管内でも8月23日と24日に熱中症警戒アラートが発表されるなど、夏休み明けの学習環境が厳しさを増している。このような環境下、暑さ対策と冷房設備の導入に向けた早急な検討が必要と思うが、教育長の見解を伺う。

金村 教育長

小中学校のコンピューター室と保健室にはエアコンが設置され、普通教室と特別支援学級では扇風機を使用している。また、今年度、中学校の普通教室にスポットクーラーを導入した。

教育委員会と学校は熱中症対策を共有し、小学校では児童に対して平常時から水筒を持参するよう勧め、熱中症警戒アラートが発表された8月23日、24日には、児童の体力と安全性を考慮し午前授業とし、中学校は放課後の部活動中止などの措置をとった。

今後の暑さ対策と学習環境の整備については、上川管内の校長会において、来年度以降も高温多湿の気候が予想されることから、児童生徒の健康保持と学校運営を考慮し、夏の長期休業期間を本州の

ようにすることも検討を行う予定である。

学校施設へのエアコン設置を検討するため、既にエアコンを設置している自治体を訪問し、学校施設の構造、教室の設置状況、維持管理費用について調査を予定している。

岡 議員

冷房設備の種類と設置場所は重要な要素で、業務用から家庭用の大きなエアコンにしたり、普通教室を優先することによりコストは大きく異なる可能性がある。

今後、価格の上昇や品薄になることも考えられることから、調査を早急にスピード感を持って進め、小学校から段階的に導入することも検討頂きたいが。

金村 教育長

小中学校の普通教室、特別支援教室、職員室、校長室に加え、高校も含めた全体計画を立てていきたい。小中学校同時に進められたいいと考えているが、あくまでも総事業費を算出した中で、優先順位を決めて進めていきたい。

岡 議員

財源が厳しいことは認識している。町村会などが国に対して要望

を行っていることもあるが、国の補助金など有利な財源を活用し、早急に児童生徒の学習環境を整えて頂きたいが、町長の見解を伺う。

早坂 町長

地域によって必要性が異なるが、本町のような盆地の気候特性を考慮すると、冷房設備の導入が必要ではないかと感じている。しかし、予算と電気代などの維持費用との兼ね合いを考慮しなければならぬ。暑さ指数に基づいてある程度の基準を設定し、それをもとに冷房設備の使用を調整することや、北海道以外で適用されている交付税措置が道内にも適用されればランニングコストを一定の範囲内に抑えることが可能である。

緊急的に冷房を整備した他の自治体首長と冷房設備の導入状況について意見を交換し、早速、教育委員会に調査を行うよう指示を出した。方向性をできるだけ早くうちに出していきたい。



産建文教常任委員会
所管事務調査

- 1 調査日 令和5年8月24日
- 2 調査事項 土木調査
- 3 調査の所見

現地調査となった18件のうち10件を実施可とした。今回は、大雨による河川の法面崩れや護岸部の河床部洗掘などの災害箇所、大型作業機の通行に支障のある町道雑木の枝払い、経年劣化による道路舗装面亀裂、耕作地排水等の要望があった。調査では、災害箇所は早急な復旧工事が必要であり、耕作地排水のトラフの設置要望に対しては土砂流入防止策を検討すること、刈分支線側溝については保全管理とごみ等の定期的な除去が必要である。

経年劣化による道路舗装面の亀裂や、歩道などの損傷部位や凹凸は全体的な年次計画を作成し効果的な対応が求められる。町の限られた予算で、地域住民の要望を検討し、緊急性にも十分配慮し、多額な経費が措置される場合は優先順位を基に年次計画で対応するなど、単年度負担を抑制し関係課や関係機関・団体との連携調整を図りながら災害時には迅速な対応を進めることを今後も強く求めるものである。

土木調査箇所及び内容

	自治会	箇所及び要望内容	可否	調査結果
1	西 町	中央団地5・6条(団地前を舗装道路)	保	前向きに検討
2	元 町	元町自治会会館前の町道歩道(整地均平修繕)	可	R5舗装補修にて施工
3	〃	道道交差点から南1条までの区間(歩道路肩と側溝側法面の崩れ)	保	経過観察(状況をみて施工検討)
4	〃	町道東3号通りの道道交差点から北1条交差点までの区間の道路側溝	可	令和5年度床洗い
5	南桜町	東砂金沢(U字型側溝トラフ)の敷設	不	流入水や、降雨後の砂利敷設は対応
6	〃	西2号災害関係(8/6降雨災害箇所)	可	令和5年度災害対応で施工済み
7	西岡町	足立線3線川(河川法面崩れで農地側に浸食8/6降雨災害箇所)	可	令和5年度災害復旧工事で対応予定
8	〃	3線川(護岸壁の河床部の洗掘)	可	令和6年度事業化予定
9	〃	保安林の枝払い	不	経過観察
10	〃	7線道路(防風林の枝払い)	可	道路敷地内の伐木を令和6年度予定
11	西原町	5号道路(西原郵便局から10線までの道路の亀裂改善)	可	年次計画を立てて検討
12	旭 町	町道8線から町道9線までの防風林の跡地(砂利敷設)	不	町道認定外で施工は不可
13	東 町	刈分支線の側溝(ゴミの多大な集積)	保	トラフ施工は不可、町道、排水路の保全是対応
14	〃	刈分川(8/6降雨災害箇所)	可	令和5年度災害復旧工事で対応
15	〃	美羽烏3線(道路面に覆い被さる雑木処理)	可	年次計画を立てて施工予定
16	〃	美羽烏5線(道路面に覆い被さる雑木処理)	可	年次計画を立てて施工予定
17	〃	東6線(国道交差点からレークサイド桜岡交差点までの路面樹周り破損)	保	経過観察
18	〃	東6線(歩道部緑石破損と舗装補修部の段差)(剣和大橋~国道交差点)	保	経過観察(年次計画を検討)

産建文教常任委員会
所管事務調査

- 1 調査日 令和5年11月6日
- 2 調査事項 ICTを活用した教育の在り方について
- 3 調査の所見

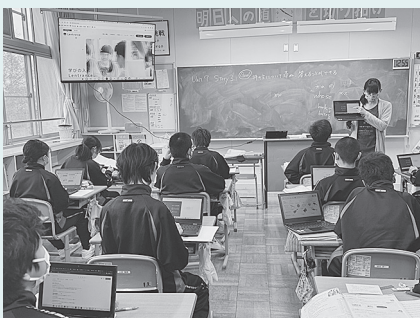
今回の調査では、中学校と小学校におけるICTの活用状況と課題を、実際の授業を通じて把握した。中学校では、デジタル教科書をモニターに映し出し、それを全生徒で共有しながらの授業や、生徒個々のタブレットに配布されたワークシートに解答を打ち込み、教員に提出する取り組みが見受けられた。タブレットの活用により、生徒が自己学習を行い、情報を共有することが可能となり、学習効果に繋がっていると感じた。

小学校では、各学年で算数や図工など各教科にわたり、児童の考えをモニターで共有して授業を進めるなどの取り組みが見られた。特に注目すべきは、4年生の体育の授業で、自身の動きを撮影しそれを見ながら改善すべきポイントを考えるものであった。また、タブレットを週1〜2回以上持ち帰り、デジタルドリルにより家庭で児童が取り組んだ問題を教員の端末から確認できる取り組みも行われていた。



いた。

今後の課題としては、小学校でのICT活用を深めるための画面共有、教材提出、資料配布などを可能にするソフトの導入が挙げられる。さらに、ICT教育の質的向上と教員のスキルアップ、トラブルへの対応のため、専門知識を持つICT支援員との連携が重要であり、教員の働き方改革も踏まえたICT化を推進していくべきものと考えられる。



内閣官房参与／山崎史郎氏講演会

8月30日、たかすメロディーホールにおいて標記講演会が開催され、『少子高齢化と社会保障のこれから』と題して内閣官房参与・北海道町村会地域振興アドバイザーの山崎史郎氏の講演を頂きました。

今までの社会保障を支えたのは、家族雇用、地域があつてこそで、社会構造が変容したことでうまくまわらなくなっている。都会でも支え合いがある地域は出生率が高く、地域の結びつきが安心感につながる。安定した雇用がなければ出生率はあがらず、単身高齢者の増加は医療介護が支えきれなくなる。夫が子育てに参加したり、地域、世代間の支え合いが極めて重要である、この提言に管内町村職員、議員、議員は皆、真剣に耳を傾けていました。



上川町村議会・北海道市議会議長会
道北支部議員研修会

10月19日に標記研修会が旭川市公会堂で開催されました。

住民から期待される議会になろう！と題し、早稲田大学マニラエスト研究所事務局長の中村健氏から、住民に期待されるためには住民の声をしっかりと聴いて課題をどう解決していくか行政と議論をし、その結果を住民と情報共有していくことが大事だということを事例を交えて講演頂きました。

続いて、スクープに見る企業の危機管理と題し、月間「文藝春秋」編集局長の新谷学氏からは、自治体において不祥事への対処など危機管理が必須事項になつており平時からの備えと危機が発生した時の速やかな対応と正確な情報提供が望まれると話され、皆、興味深く聞き入っていました。



議会アンケート調査へのご協力お願い

現在議会改革特別委員会では今後の議員定数等について議論が進められています。

この度、別紙にて、アンケートを作成いたしました。左記の場所に回収箱を設置しておりますので町民の皆様にご協力いただきますようお願い致します。

なお、左記のQRコードからスマートフォンでも簡単に回答いただけます。

1. 町民センター
2. まちの駅
3. ふれあい健康センター



編集後記

日頃より議会だよりご覧いただきありがとうございます。町民の皆様にも少しでも議会を身近に感じていただけるよう、議会の活動や議論を分かりやすく伝えることに重点を置いて、広報委員の想いと責任感を込めて広報誌づくりを行ってきました。また、新しいメンバーになって発行される議会だよりもご愛読いただきますようお願いいたします。

広報委員長 岡 康照
副委員長 酒井 修
委員 卯城規伊
竹内佳明
村上知世